令和6年6月定例会会議録(第3号)

令和6年6月7日 金曜日 午前10時00分開議 鈴 木 富美子 議 長 金 子 豊 美 副議長

出席議員(16名)

1番	平	井	直	之	議員	2番	鈴	木	英	則	議員
3番	勝	見	英 -	一朗	議員	4番	鈴	木		裕	議員
5番	鈴	木	悟	司	議員	6番	鈴	木	_	則	議員
7番	渡	部	正	之	議員	8番	竹	田	陽	_	議員
9番	内	谷	邦	彦	議員	10番	渡	部	秀	樹	議員
11番	浅	野	敏	明	議員	12番	金	子	豊	美	議員
13番	苹		進	介	議員	14番	梅	津	善	之	議員
15番	今	泉	春	江	議員	16番	鈴	木	富美	€ 子	議員

欠席議員(0名)

説明のため出席した者

内	谷	重	治	市	長	齌	藤	環	樹	副	市	長
竹	田	利	弘	政策推進参	: 与	髙	石	潤	_	危 機	管理	多 与
新	野	弘	明	総務参事兼地域づくり推過	進課長	梅	津	義	徳	厚生参事	兼福祉あんし	ん課長
菊	地	千	賀	税 務 課	長	逸	見	睦	子	市	民 課	長
土	屋	正	人	教 育	長	牛	澤	敏	宏	選挙管	理委員会委	長員等
青	木	邦	博	技 術 参	与	赤	間	茂	樹	産業参	事兼商工振興	4課長
佐	藤		久	建設参事兼上下水道	課長	竹	田		洋	教育次:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	育課長
髙	橋	嘉	樹	農林課長併農業委員会事務		渋	谷	和	志	観光ス	文化交流	課長
若	月	由	紀	建設課	長	丸	Щ	邦	昭		文 化 交 i	

事務局職員出席者

 鈴木敏久事務局長
 小林克人副主幹兼補佐

 小阪桃子議事調査主査
 安達洋司技

議 事 日 程(第3号)

令和6年6月7日 金曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

13番 平 進 介 議員

11番 浅 野 敏 明 議員

2番 鈴 木 英 則 議員

15番 今 泉 春 江 議員

14番 梅 津 善 之 議員

本日の会議に付した事件

議事日程(第3号)に同じ

開議

〇鈴木富美子議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。 よって、ただいまの出席議員は定足数に達し ております。

本日の会議は、配付しております議事日程第 3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○鈴木富美子議長 日程第1、市政一般に関する 質問を昨日に引き続き行います。

なお、浅野敏明議員から、資料の配付について申出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、御報告いたします。 それでは、順次御指名いたします。

平 進介議員の質問

- 〇鈴木富美子議長 順位 6 番、議席番号13番、平 進介議員。
- **○13番 平 進介議員** おはようございます。 共創長井の平 進介でございます。よろしくお 願いをいたします。

このたびの一般質問は、大きく3項目についてお尋ねをいたします。

1つ目は、昨年10月からふるさと納税制度が 改正され、本年度の寄附金の予算額が大幅に減 額されております。そうしたことを踏まえ、新 たな返礼品について提案させていただきたいと 思います。

なお、野川小水力発電に関しましては、野川 土地改良区の理事長さんにお話をさせていただ いております。

2つ目は、このたび全員協議会で報告がありました固定資産税の課税誤りについて、確認を含めてお尋ねをいたします。

3つ目は、住宅使用料の収納状況と指定管理 者制度の導入について提案させていただきます。 順次お尋ねいたしますので、前向きな答弁を お願いいたします。

初めに、1番のふるさと納税の拡大に向けて 伺います。

(1)野川小水力発電の電気について、市長に伺います。

野川土地改良区は昭和37年に設立いたしまし た。長井市と飯豊町を関係行政区域とし、地区 面積2,528ヘクタール、組合員数2,200余名を有 する組織であります。野川幹線用水路は、長井 ダムを取水源とする山形県企業局新野川第一発 電所の放流水を導入し、置賜野川沿いに広がる 農地に農業用水を供給しております。本用水路 は、安定した水量と落差があり、この恵まれた 水力を活用し、野川小水力発電所を整備してお ります。野川小水力発電所と野川第2小水力発 電所の2基を整備し、年間発電電力量は約500 世帯分の電力量に匹敵するとのことでありまし た。この電気の売電先が東京の生協系の電力会 社である株式会社パルシステム電力ということ のようであります。改良区の課長さんにお聞き しますと、加入世帯は約60万世帯で、ゼロカー ボンに向けた取組に賛同し、事業を展開してい るということでございました。

また、生活協同組合パルシステム東京へは、 野川の水を利用して栽培したつや姫をおきたま 農協を通して販売をしており、年に2回ほど田 植の草取り作業や稲刈りなどの体験ツアーを通